

# コロナで生活困難な茨城県民を支えよう 「誰かのために募金」



## 目的

新型コロナウイルスの感染拡大により発生した社会課題に対して、市民や団体がお互いに支え合うことで困難な状況を乗り切り、人と人との関係性を維持、または豊かにしていくこと、前向きに生きる希望を与えることを支援します。

## 目標

2020年度：1,000万円  
(2割は事務費用に充当)

## ご寄付の使途

ご寄付は、主に以下の茨城県内の活動に活用させていただきます。

- 元々厳しい状況に置かれている要配慮者で、新型コロナウイルス感染拡大により二次的被害を受けた方を支援する、主に市民が中心となった活動  
(例) 子ども、高齢者、障がい者、生活困窮者、DV被害者、被災者、在住外国人などの支援活動
- 新型コロナウイルスの感染拡大による影響で新たに支援が必要になった方を対象とした、主に市民が中心となった支援活動  
(例) 失業、生活苦、居住場所の喪失、ストレスによる心身の悪化、などを支援する団体
- 新型コロナウイルスの感染拡大による新たな社会課題に対応して生まれた、新たな地域活動や社会的サービス
- 対面での活動ができなくなったことで、在宅型に変更するためのIT化などの基盤整備

## ご寄付の方法

- ・口座振込
  - ・現金手渡し(接触を避けることが望まれる中、あまりお勧めはしません)
  - ・クレジットカード(※)
  - ・クレジットカード(毎月決済)(※)
  - ・コンビニ払い(※)
  - ・ペイジー(※)
- ※ インターネットでお申し込みください。  
< [www.darekanotameni.net](http://www.darekanotameni.net) >

詳細は裏面



## 口座振込

**ゆうちょ銀行** 〇一九店(ゼロイチキウウ店)

当座 0263714 (口座番号)

00110-3-263714 (記号番号)

NPO センター・ commons いばらき未来基金(エヌビ。ーオー  
センター commons イバ。ラキミライキキン)

または

**常陽銀行** 本店営業部

普通 3637778

認定 NPO 法人茨城 NPO センター・ commons いばらき  
未来基金 代表理事 横田 能洋(ニンテイエヌビ。ーオー  
ホウジ。ン イバ。ラキエヌビ。ーオーセンター commons)

※ 常陽銀行口座は、ウェブサイトをご覧ください。

※ 匿名寄付を望まない場合、事務局にご氏名、ご住所、  
連絡先を必ずお伝えください。税控除手続きに必要な  
領収書を送付します。



**NPOなどによるコロナの影響調査抜粋** ※ 詳しくは特設サイトをご覧ください。

**子ども**

- ・ 休校・休園や外出自粛で、屋内遊び、テレビやビデオ、インターネット動画、ゲーム、家族との会話が増え、屋外遊び、友達との交流、塾や習い事は減少している。
- ・ 臨時休校・休園の影響として困っていること、心配していることとして、56.8%の保護者が「休校・休園自体や友だちと会えないことによる子どものストレス・心のケア」と回答。
- ・ 74%の児童養護施設が子どものストレス、精神的負担を懸念。

**若者**

- ・ 42.3%の中高生が「急に不安になることが増えた」と回答。
- ・ 45.4%の中高生が「食事が不規則になった」と回答。
- ・ 「家族の収入が減った」、「なくなった」学生が4割。
- ・ 13人に1人が「大学をやめる」ことを検討し始めている。

**子育て世帯、妊産婦**

- ・ ひとり親のうち、54.4%が収入が減る。
- ・ ひとり親家庭の42.5%が「協力者が全くいない」と回答。
- ・ 臨時休校に伴い、休業せざるを得なかった子育て中の医療職

は44.2%。

- ・ 妊娠中に新型コロナウイルスの感染拡大が続いている現状についての不安なこととして、91.0%の妊婦が「感染した際の胎児への影響」と回答。

**高齢者**

- ・ 46.6%が「透析等必要不可欠なもののみ対応」と、通院など病院受診についての制限をかけている。【茨城】
- ・ 36.2%が「介護による自身の疲労、ストレスが増している」と回答。
- ・ 51.2%のケアラーが、自身が新型コロナウイルスに感染した場合、代わりに人はいないと回答。

**障がい児・者**

- ・ (障がいのある施設利用者は) 各行事の中止にがっかりしていたが、理解してくれた。【茨城】
- ・ 休校措置に対して、70.9%の医療的ケア児の親が「とても困っている/困っている」と回答。

**「誰かのために募金」とは**

～いばらき未来基金内の基金の一つとして設置～

いばらき未来基金は、茨城の未来をつくり、市民の生活を支え、地域のつながりを育む様々な市民活動と、それらを応援したい市民や企業などをつなぐ、茨城のための市民コミュニティ基金です。

茨城県内の企業や NPO、労働組合、農協、生協、メディア、大学などからなる運営委員が連携し、認定 NPO 法人茨城 NPO センター・commonsに事務局を設置し、2012 年から運営しております。

市民が地域課題解決の主体となること、また多様な組織の連携による地域課題の解決を推進し、いばらきの未来づくりにつながる活動を応援することを目的としています。

**寄付者優遇税制が適用**

「誰かのために募金」を設置するいばらき未来基金事務局の茨城 NPO センター・commonsは、認定 NPO 法人です。ご寄付いただくと、税制面で優遇されます。詳しくは特設サイトをご覧ください。

**いま、あなたのサポートが必要です。  
ご支援ありがとうございます。**



**お問い合わせ**

いばらき未来基金事務局  
(運営：認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・commons)  
担当：大野、奥田

〒310-0031  
茨城県水戸市大工町 1-2-3 トモスみとビル 4 階 みとしん  
ビジネスセンター C-1 認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・commons内  
電話：029-300-4321 FAX：029-300-4320  
eメール：office@ibaraki-mirai.org